

りとにゅーす

No.64 2011.11.1

図書館の情報を
携帯でチェック!!

編集・発行

岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>

一冊の本から……

岡山理科大学 図書館長
関 達也

十数年前、内田百閒に夢中になっていた頃のことである。この大学にどんな百閒の本があるのかを調べるために10号館へ行ってカードを繰ってみると、とんでもないのが見つかった。内田榮造・多田基著「英語対照獨逸語新講」という本である。榮造は百閒の本名。「獨逸語征伐」という勇ましい名前の本があることは知っていたが、こんなのは聞いたことが無い。早速書庫に入って探した。本の背には「Anfangsgründe der Deutschen Sprache」とドイツ字で書かれてあるだけなので請求記号が唯一の頼りである。借り出して調べると、昭和七年発行の初版が「獨逸語征伐」、昭和十年発行の再版が「英語対照獨逸語新講」であることがわかった。それにしてもなぜこんな本が岡山理科大にあるのか。蔵書印を見ると、「学校法人加計学園図書館・受入38.9.3・7191」とある。大学を設立する際に大学設置基準を満たすのに必要な数の図書をそろえるために、新刊古書取り混ぜて一括購入したものの中に入っていたものと思われる。

ここで「加計学園創立二十周年記念誌」を頼りに設立時のことをまとめておく。#昭38・9・1第一学舎竣工、#昭39・1・25岡山理科大学認可、#昭39・4・1岡山理科大学開学、図書館発足（スタッフ、館長・司書1名・事務員1名；蔵書数1万3千余冊、現在の10143・10144教室が閲覧室、10147教室が書庫兼事務室）、#昭39・4・28第一

回入学宣誓式、#昭41・3・16体育館竣工（今のコンビニのある22号館の所）、#昭41・3・20第1号館竣工、#昭41・7・16図書館竣工、#昭43・5・25学園本部棟竣工。蔵書印にあった「学校法人加計学園図書館」は大学が認可前なのでそういう名前にしたこと、「7191」は1万3千余冊の内の一冊であったことが解る。

毎年新生に学生便覧が配布される。その後ろの方に建物の図面が載っている。昭和60年度版に載っている専門学舎は8号館までであるが、翌年の昭和61年度版には13号館まで急増している。但し増加した全部が新築ということではなく、本部棟を9号館、図書館を10号館として番号を付けたらしい。したがって両館の番号は建設順から外れている。

近年、建物の耐震性が問題になっている。本学でも初期に建てられた上記の建物群は建替えの必要性が生じており、新築の計画が進行中である。建学五十周年を目前にしてどんな建物が出来上がるか期待せずにはいられない。なお、前記の本についてであるが、国立国会図書館には初版本の「征伐」は所蔵されているが再版本（「新講」）はないらしい。初学向けの語学書とはいえ百閒の著作中の珍本であることは間違いない。百閒の生れ故郷の岡山で永年保存されてきたというのは奇縁という他ないでしょう。